

## 施策8 読書活動の推進

### 1 これまでの取組みの状況と今後の方向性

#### 【これまでの取組みや成果】

「福岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭や地域と連携して子どもと本をつなぐ環境づくりを推進するとともに、市民との協働による福岡市子ども読書活動推進会議や福岡市子ども読書フォーラムを開催するなど、子ども読書活動の推進を図ってきました。

また、小中学校へ学校司書を36人配置し、小学校に隔年での配置、中学校には年間12日の支援配置を行ってきました。学校司書と司書教諭が連携して学校図書館の充実を図ることで、児童生徒が自ら図書館に足を運び、読書を楽しむ環境づくりや、小学生読書リーダーを養成し、児童の主体的な読書活動を推進してきました。

さらに、学校図書館を支援するため総合図書館内に設置した「学校図書館支援センター」が平成27年度から本格稼働し、学校図書館の運営や環境整備等に関する相談に指導・助言を行うとともに、学校の要請に応じて学習支援用図書の貸出を行うなど、連携体制を整備・強化してきました。

#### 【課題や求められていること】

学年が上がるにつれ、本を読まなくなる傾向があるため、学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能をより活性化させることが必要です。また、学校図書館の活性化に向け、学校司書の配置の在り方等について検討する必要があります。

#### 【今後の方向性】

校長の方針のもと、司書教諭を中心に学校司書やボランティアも含め、学校図書館活性化のための体制を強化するとともに、新学習指導要領の主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学校図書館を読書活動だけでなく、授業での活用を積極的に進め、言葉で考え、言葉で正確に理解したり、適切に表現したりする力を育成する取組みを充実させていきます。

また、学校図書館の環境を整え、児童生徒が自学の場としても活用できるよう検討していきます。

さらに、平成29年2月に策定した「福岡市子ども読書活動推進計画(第3次)」に基づき、家庭、地域、学校、図書館が連携しながら子ども読書活動の推進を図り、豊かな心の育成に取り組んでいきます。

#### 主な取組内容

- ① 子どもと本をつなぐ取組み
- ② 学校図書館の充実

## 2 評価指標

(令和元年6月策定 第2次福岡市教育振興基本計画より)

| 指標名                             | 指標の概要   | 対象   | 現状値<br>2017(H29) | 目標値<br>2024(R6) |
|---------------------------------|---|------|------------------|-----------------|
| 児童生徒の読書活動への意識(生活習慣・学習定着度調査)     | 「読書が好きですか」との設問に対し、肯定的回答を行った児童生徒の割合                | 小5児童 | 80.2%            | 90%             |
|                                 |   | 中2生徒 | 70.6%            | 90%             |
| 読書量調査(福岡市教育委員会調査、毎年11月の一か月間を調査) | 1か月間の平均読書量  | 児童   | 15.8冊            | 17冊             |
|                                 |   | 生徒   | 2.8冊             | 4.5冊            |
| 教科との関連を図る取組み(福岡市教育委員会調査)        | 「図書館資料を活用した授業が計画的に行われていますか」との設問に対し、肯定的回答を行った校長の割合 | 小学校長 | 85%              | 90%             |
|                                 |   | 中学校長 | 42%              | 90%             |



学校図書館にある資料を活用した調べ学習(中学校)



小学生読書リーダー養成講座における読み聞かせ実習(小学校)